

C&C

Cure and Care
communication

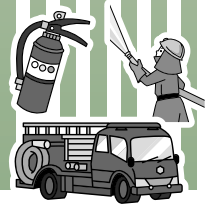
第79号

コミュニケーション

発行所 〒731-5142 広島市佐伯区坪井三丁目818-1
Tel.082-923-8333(代) http://www.pia-gr.or.jp/ナカムラ病院
介護老人保健施設 まいえ
医療法人ピーアイエー
グループホーム つばい特別養護老人ホーム
陽光の家
通所介護事業所
訪問介護事業所
居宅介護支援事業所

平成25年12月13日に広島市佐伯消防署と広島市佐伯消防団による大規模な防災防火訓練が実施されました。勿論、地元町内会の有志の方々も協力していただきました。午前9時50分に五日市断層による地震があったと想定して一斉放送をかけました。各班長が防災センタ―に集合し、各部署より被害状況の報告を受けていたところ午前10時に突然火災警報が鳴りました。B4病棟ホールが出火したとの連絡があり直ちに初期消火及び避難訓練を開始しました。その後逃げ遅れの詳細も把握できたので駆け付けた消防署員へ救助依頼をしました。するとヘリコプターが飛来してきてB棟の周辺を

大規模防災防火訓練



旋回し屋上へ向かってロープを投げ降ろしました。そのロープを伝って消防署員が屋上へ降り立ち、逃げ遅れを想定した人形を抱えていました。そのままロープが引き上げられ無事にヘリコプターへ収納され、空かなたへと飛び去りました。



次にB5病棟のバルコニーに逃げ遅れを想定した職員が救助を求めてずっと両手を振り続けているのが見えました。下

に配置していたハシゴ車のハシゴがB5病棟バルコニーに伸びゴンドラがバルコニーの柵に接触しました。ゴンドラの中から消防署員が出てきて救助を求めていた逃げ遅れの人を順次ゴンドラ内に誘導して乗り込みました。ゴンドラとハシゴが旋回して地面に着地し、無事救出されました。

B4病棟では、一時避難場所である大ホールへベッドごと移動させました。またロビーに待機していた入所者さまには近隣の方々のご協力で屋外の救護所まで歩いて避難していただきました。午前10時半には訓練が終了しました。予定より10分早かったのですが、皆々様のご協力で迅速に終了できたと感じております。考えてみれば当法人のご利用者のうち歩行可能な方の大半は認知症の方です。誰かが見守ってさし上げなければ大変危険なことになります。療養病棟へご入院中の患者様は大半が寝たきりで独歩される方はいません。こういう状態で万一災害が発生すれば大惨事となるのは必然です。このような訓練を繰り返し、災害を未然に防ぐよう努めてまいります。最後にご協力を賜わりました関係各位へ心より感謝申し上げます。

防火防災管理者 尾崎 和則



院内
研修

食事時のポジショニングに参加して

昨年12月に食事時のポジショニングに関する研修会が開催されました。食事は日々安全に楽しく行うものであり、患者さまにとっても栄養補給のみならず生活の質を高める上で大変重要です。病棟スタッフ、栄養科、歯科から多数の参加があり、相互実習も含まれたことやリハビリ科スタッフの熱心な指導から会場は熱気にあふれていました。



ナカムラ病院では摂食・嚥下障害の精査が可能であるビデオ嚥下造影検査の設備が整っており、摂食・嚥下障害の評価やそれに対応する適切なリハビリテーション、姿勢や食事レベルの選択など、他の病院・施設ではなかなか受けられない検査を行うことができます。

担当医師

歯科医師 園田 峰加

や病棟スタッフはもとより、リハビリ科、栄養科、歯科など多職種協働で摂食・嚥下障害に対する治療やリハビリをチームであたっています。とりわけ摂食・嚥下障害を有する患者さまにとって、食事時の姿勢や介助法は重要な因子であり、今回の内容は即実践すべき大変意義深いものでした。ベッド上で過ごされる患者さまに対応する姿勢調整法やその姿勢を支えるためのさまざまなかっこシオンやその他のリハビリグッズの利用法など、同じ医療従事者でもリハビリ科スタッフの持つ知識は我々他科の人間からすると「目からウロコ」でした。



今後は適切な姿勢調整を通じて、ますます安全で安心して、美味しく美味しく食事を召しあがっていただくよう患者さまに対応していきたいと考えています。

災害相互 応援協力 協定調印式



平成25年12月13日午前9時過ぎに医療法人ピーアイエーと五日市観音西地区自主防災会連合会との間で災害相互応援協力協定の調印式が佐伯消防署友滝署長の立ち会いでナカムラ病院大ホールで行われました。

五日市観音西地区自主防災連合会は、倉重・千同上・坪井上・三宅・観音台一丁目から四丁目までの8つの町内会で組織されています。



災害時に近隣の方が当法人のご利用者さまの避難誘導及び介護援助などに協力されるという内容です。また、大災害時には当法人の施設が近隣住民の一時避難場所となります。勿論火災は悲惨ですが、

自然災害も予測が困難なため非常に不安です。今でも平成11年6月29日の土石流



▲古川孝義会長(右)と当法人理事長 中村英雄(左)

ははつきりと覚えていきます。当時ナカムラ病院B棟の建造中でしたが、病院の前の道路が泥川となって土砂が流れてきました。不幸中の幸いというのか当法人の施設には直接被害はありませんでした。それ以降、大雨が降るたびに病院の前にある川の水の量を見に行くのが習慣となりました。

この協定で不安が少しでも軽減できればと願っています。

防災管理者 尾崎 和則



私たちこんなことを発表してきました

第21回 日本慢性期医療学会 東京大会

日本の医療、慢性期からの再出発

会期：2013年11月14日(木)～15日(金)

会場：ホテル グランパシフィック LE DAIBA

ナカムラ病院からは15名が参加し3名が発表しました。

統一性のあるケアを目指して

～カンファレンスの導入～

B2病棟 看護職 松山 修子



B2病棟は療養型医療病棟として高齢者の終末期医療を担っています。

以前より3か月毎に患者さまのご家族も参加して、コメディカルを含めたカンファレンスを実施していましたが、スタッフ間の情報共有が不十分でケアに統一性がないという問題を抱えていました。そのため、ケアの向上やスタッフの意識変化を目的として昨年7月より日々の業務にカンファレンスを組み込むことになりました。カンファレンスで個々の持つ情報を出し合うことによって、問題に対する有効な解決策が見つかる可能性は高くなります。また患者さまやご家族の意向を取り入れ目的を明確にした上でケアを提供していくことにより、スタッフ間の意思統一も図れるようになりました。実施開始後のアンケート調査でも、約8割の職員が日々のカンファレンスを取り入れた方が良いと回答しています。スタッフ全体で統一したケア提供を継続していくために、これからもカンファレンスは必要不可欠だと考えられます。今後もより充実したカンファレンスを実施できるよう取り組んでいきたいと思っております。

当院における日常的な口腔ケアの 現状と今後の課題

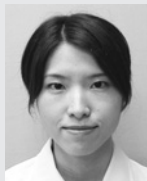
歯科衛生士室 歯科衛生士 板木 咲子



この度、当院における日常の口腔ケアの現状を調査し、歯科としての専門的な口腔ケア実施の必要性について整理しました。日常の口腔ケアにおいて、介助を行っているかどうかは、お食事や排泄などADL(日常生活動作)と関係している傾向と、口腔ケアを拒まれるかどうかという点と関係している傾向にあることがわかりました。また、歯科としての専門的な口腔ケア実施が必要な方に対しては、お口の状態を把握した上でお一人お一人に適した口腔ケア方法を検討しご提供することが望ましいという見解に至りました。当院スタッフによる日常の口腔ケアの介助については、患者さま・利用者さまご自身ができるところはしていただき、難しいところをサポートさせていただくという患者さま・利用者さまの残存機能に配慮した姿勢が多く見受けられました。歯科としては日常の口腔ケア実施にあたり、現場で活用しやすく効率的な口腔ケアの方法について今後も情報を発信していくと共に、専門的な口腔ケアが必要な方に対して適切な頻度で専門的な口腔ケアをご提供していきたいと考えております。

不安が強い認知症患者に対する関わり

B5病棟 看護職 有近 紘子



不安が強く訴えの多い患者さまの心理的要因を理解し、ケアにつなげることで、少しでも穏やかに過ごしてほしいと考え、病棟で取り組みを行いました。毎日頻回に同じ質問を繰り返したり怒ったりする患者さまの様子を記録し、カンファレンスを行いました。一人っていると「寂しい」という言葉をよく言われること、レクリエーション中は訴えが全くないことなど、日々の様子を記録することで対象患者さまの欲求を知ることができ、職員の認識を統一することが出来ました。それらに合わせて対応を実施した結果、質問を繰り返したり怒ったりすることが減り、穏やかに過ごす時間が長くなりました。本研究を通して、BPSDのみに着目するのではなく、普段から患者さまの様子を観察し職員間で情報を共有し、その人のニーズを理解してケアにつなげることが大切だと学びました。

おひがなびから来ましたー

A. オムツフィッターや無理のない介助方法のケア技術研修に参加し、より技術の向上と新しい知識を吸収したいと考えています。

Q. 今後、挑戦してみたいことはありますか？

A. 子供たちが大学を卒業し就職してくれることです。

Q. 今一番の楽しみはなんですか？

A. 本を読んだり、DVDを見ます。

Q. リフレッシュ法を教えてください。

A. 利用者さまの笑顔が見られたとき。

Q. 仕事にやりがいを感じるのほどはどのようときですか？

A. 生涯働けるよう手に職をつけたかったです。

Q. 看護師を目指されたきっかけを教えてください。

毎回シリーズでお届けしている各部署責任者へのインタビュー。今回は重度認知症デイケアにきや家の藤間智子主任です。

スタッフインタビュー

陽光の家通信

【餅つき・忘年会】

平成25年12月14日、陽光の家では毎年恒例の餅つき・特養忘年会を開催致しました。一年の締めくくりを入所者さま・ご家族と一緒にさせていただきました。餅つきでは「よいしょ・よいしょ」の掛け声とともに、餅をつく音が施設全体に響きわたりました。入所者さまも餅つきに参加され、久しぶりに餅をつくことができ、感動で涙を流される方もいらつしやいました。若手職員は慣れていないせいか、利用者さまから「腰が入っていない、あれはダメじゃ。」とご指導をいただく場面もありました。



いただいたき、「あんなことがあった。こんなことがあったね。」と、各テーブルから笑い声が絶えないとても楽しいひと時となりました。忘年会の食事は鍋やちらし寿司などを提供でき、入所者さまやそのご家族が「この味付けはなかなかできない。とてもおいしい。」と絶賛されていました。また、つきたてのお餅もぜんざいやきなこ餅も大変好評でおいしくいただきました。

特別養護老人ホーム 陽光の家
生活相談員 佐々木 雄治

平成25年12月3日(水)、ドリミネーション見学に出かけました。今回は夜の外出とあって、「今から出かけるんですか?」と驚きながらも車に乗り込み、出発です。「暗いけどどこ走りよるか、わからんねえ」「夜景が綺麗だねえ」と話が弾んでいる



うちに到着です。ドリミネーションを目にして、あまりの綺麗さに驚きの声をあげられていました。電飾が散らばる通りを、車でゆっくりと往復して見学は終了です。「来年も来ましょう」「来年は、あの牡蠣舟で食事がしたいね」と次の計画が決定? 今回は6名の入居者さまの参加でしたが、いつもとは違う夜の外出を十分に楽しんでいただけようです。

グループホーム つばい

介護職 堤 美佐子

歯科の扉

～舌の働きについて～



舌は、発音・咀嚼・嚥下などの機能に関わっています。例えば、「夕」を発音する時には、舌は上の前歯の裏側にあたります。物を飲みこむ時には、舌は上あごの天井部分にあたるはずですが、普段は自然に動いてくれるので意識しませんが、お口の機能を発揮するために頑張ってくれています。

また、舌は優れた感覚を持っています。舌の上で1mm離れた2つの場所を押した時に、それを2点と認識できるのです。

そして、忘れてならないのが味覚。唾液と混じり合った味物質は、舌の表面にある味蕾で感じとられます。食事の時には、たくさん咬んで唾液を出し、しっかりと味わいたいものです。

歯科医師 田地 豪

第16弾

快護の匠



今回は、社団法人 広島市老人福祉連盟が地域支援事業の一環として平成18年から広島市から受託されている事業～家族介護者教室・家族介護者交流会～の紹介です。今回説明してくださる匠は、陽光の家居宅介護支援事業所の谷幸恵さんです。

家族介護教室

高齢者を介護されているご家族や近隣の皆さまを対象に、介護方法や介護予防・介護者の健康づくり等についての知識・技術について学ぶ教室です。佐伯区では毎年概ね7月から12月頃にかけて、区内の老人福祉施設7施設で11回開催されています。

平成25年11月28日(木)『陽光の家』で『認知症の人との接し方』というテーマのもと、認知症の理解を深め認知症に対する知識とケアのポイントを理解することを目的とし、認知症介護指導者(認知症研修コーディネーター)の岩本陽子氏が講演されました。認知症ケアについての具体例を6事例あげ、ご家族の役割をわかりやすく説明されました。また、ご本人・ご家族・介護スタッフを含めその人らしさを大切にすることや、ご家族のつらい気持ち・ストレスをわかちあい、長いケアを一緒に乗り越えていく手助け・援助ができるスタッフがたくさんいることを話されました。参加者の方からは、日常の具体例がありとてもわかりやすく勉強になった、一人で抱え込まずに周囲にもわかちあえる協力者がいると知り心が晴れた、と好評でした。



家族介護者交流会

高齢者をご自宅で介護されているご家族を対象に、なかなか自由に外出できない介護者の方が、ひと時介護から離れ入浴や食事を通しリフレッシュ他の介護者の方と交流する事業です。佐伯区では毎年秋頃に開催され、平成25年度は湯来ロッジで行われ約50名程度の方が参加されました。

参加者の方からは、久しぶりにゆっくり楽しく過ごせた、医療や介護についての情報交換ができたとの声が寄せられています。平成26年度も同様に事業が計画されていますので、興味のある方は一度参加されてみてはいかがでしょうか。



社団法人 広島市老人福祉連盟:広島市の老人福祉施設で組織され、高齢者・介護者などに対するあるべき福祉諸施策の調査・研究・啓発活動を行い、高齢者の権利擁護に必要な援助を行うと共に、介護保険外のサービスを含む総合的な相談・支援を行うことにより、高齢社会の健全な発展並びに個々の人々の生活の質の向上を図り、もって県民の福祉の向上に寄与することを目的としています。

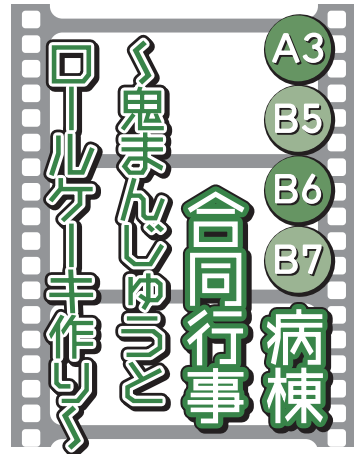
平成25年度 家族介護教室

7/9(火)	『いつまでも 若く美しくたくましく・そしてしぶとく ～健康長寿に秘訣～』	湯来保養園	10/5(土)	『認知症とは ～グループホームでの生活～』	五月が丘公民館
7/28(日)	『介護者のための転ばぬ先の転倒予防教室』	陽光の家	10/10(木)	『認知症についての理解』	楽々園公民館
8/17(土)	『認知症の方との接し方』	五日市公民館	11/6(水)	『介護者のためのリフレッシュ体操 ～ルンルン体操～』	湯来福祉会館
8/23(金)	『介護予防のための健康体操』	五月が丘公民館	11/28(木)	『認知症の人との接し方』	陽光の家
9/27(金)	『特定施設での半日入居体験! ～生きがいのある日常生活の体験～』	五日市グリーンホーム	12/11(水)	『埋蔵筋をつくろう! ～介護予防体操・健康体操～』	河内公民館
			12/12(木)	『家族でできる高齢者のためのおせち料理』	八幡公民館



出来立てほかほかの
鬼まんじゅうとロールケーキ♡
き立つ」と
工夫される
方など、患
者さまの普
段とは違っ
た一面を見
ることがで
きました。

平成25年11月下旬、院内の畑で収穫したサツマイモで、B6・B7病棟の患者さま方とおやつ作りを行いました。これは、旬のものを使い、普段あまり行う機会の無い料理をすることで、懐かしさや季節を感じていただきたいという思いから行った活動です。



試食会では、A3・B5病棟の患者さまをお客さまとして迎え、「おいしいね」、「またやらせてね」と笑顔も多く、皆さん楽しんでおられました。

ナカムラ病院

作業療法士 松尾 美穂



みんなに
食べさせて
あげたいね!



平成25年11月9日「認知症の理解と関わり方について」と題して、第53回家族会をナカムラ病院研修室にて開催しました。

この度は、院長の塚野より認知症の種類や症状・治療についてお話しさせていただき、続いて、認知症サポートー養成講座講師であり、また日々ケアにあたっているグループホームつばい職員の堤から、認知症の方との接し方について実例なども交えながらお話しさせていただきました。

今回の家族会では、ご家族だけではなく、地域住民の方にも参加していただくことができ、計61名の参加となりました。内容についても「わかりやすかった」と好評のうちに終えることができ、積極的に質問をされる参加者の姿を見て、改めて認知症についての関心が高いことを感じ

第53回 家族会



～認知症の理解と関わり方について～

ることができました。

高齢社会となり、認知症の方が増えている中、認知症について正しく理解し、接し方を学ぶことや、実践していくことは、とても大切なことだと思います。

今後も参加者の希望に沿えるようなテーマを取り上げていきたいと思っておりますので、どうぞ宜しくお願い致します。

ナカムラ病院

医療福祉相談員 高場 寿恵



▲ 認知症の種類や
症状・治療について

▲ 認知症の方との接し方について



▲ピン倒しの様子

爽やかな秋晴れの日、まいえ2ではミニ運動会を行いました。初めの応援合戦では、応援団長の職員と共に、「フレーフレー」と皆さんとても大きな声を掛け合い、競技をスタートしました。大玉転がし、玉入れ、ピン倒



しなどの競技を行いました。中でもペットボトルに水を入れたピン倒しでは、皆さんとても力強く、最後の1本を倒すまで頑張つて玉を投げてくださいました。全てのピンが倒れた時の皆さんの歓喜の声と表情は、とても印象に残りました。最後は、両チームの得点につながる職員による飴探しでした。小麦粉の中に隠れた飴を、顔を真っ白にして探す職員の姿に皆さん大笑いでした。競技の後は、バナナとジュースを食べ、ミニ運動会を終えました。結果は赤組の勝利でしたが、勝敗に関係なく、皆さんの表情は笑顔でした。「楽しかったよ。ありがとう。」「準備が大変だったじゃろう」と職員を気遣う声をかけていただき、職員一同、大変嬉しく、大きな励みとなりました。

今後も、利用者さまが心から楽しんでいただけるような行事を企画、提供していききたいと思います。

介護老人保健施設 まいえ2

介護職 西村 陽子

いきいき行事ダイジェスト

10月

- 外食(つばい)
- バスハイク【植物公園】(まいえ1)
- 秋を楽しむ(A3)
- フルーツバイキング(B5)
- 昼食バイキング(まいえ2)
- 球技大会(B7)
- 栗ご飯作り(にぎや家)
- B1、B3、B4合同運動会(リハビリ)
- 手作りおやつ(つばい)
- フルーツバイキング&10月お誕生日会(まいえ1)
- 運動会(まいえ2)
- 誕生日会&歌(つばい)
- 喫茶ボランティア・売店(陽光の家)
- 秋祭り(陽光の家)
- 慰問(陽光の家)
- 法話会【長福寺】(陽光の家)

11月

- 植物公園へ散策(つばい)
- そば打ち(A3)
- フラダンス(まいえ2)
- どん焼きパーティー(B7)
- 手作りおやつ(つばい)
- 昼食バイキング(まいえ1、まいえ2)
- 運営推進会議(つばい)
- 料理クラブ【レアチーズケーキ】(まいえ2)
- 秋を楽しむ会(B6)
- 秋のバスハイク(にぎや家)
- 法話会(リハビリ)
- 物故者慰霊祭(陽光の家)
- 喫茶ボランティア・売店(陽光の家)
- 消防避難訓練(陽光の家)
- 法話会【光乗寺】(陽光の家)
- 書道クラブ(陽光の家)
- 家族介護教室(陽光の家)

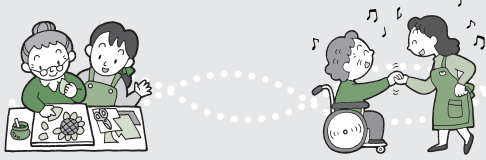
12月

- 平和大通りイルミネーション見学(つばい)
- そば打ちバイキング(にぎや家)
- 昼食バイキング(まいえ2)
- 料理クラブ(まいえ2)
- クリスマス会(B5、B7)
- 12月のお誕生日会と忘年会(まいえ1)
- カラオケ喫茶(まいえ2)
- クリスマスケーキ作り(つばい)
- 生け花クラブ(陽光の家)
- 喫茶ボランティア・売店(陽光の家)
- 法話会【善正寺】(陽光の家)
- 慰問【そよ風】・特養忘年会(陽光の家)
- 慰問【大正琴】(陽光の家)



看護・介護の理念

我々看護・介護職は、患者さまの自立を目標に精神的、肉体的苦痛を軽減し、尊厳を持って安心・安全な療養生活ができる看護・介護を提供します。



ピーアイエー理念

我々は幸齢社会を創ります

我々は、今後増大する高齢者の医療、福祉の要望や要請に対応したサービスを創造する社会的使命を自覚し、精神的、肉体的苦痛や負担を軽減し、安心して残りの人生を幸福に送って頂ける環境とサービスの創造と提供を行います。

例年よりもなんとなく明るく活気に満ちたカレンダーが多く、カレンダー展を通して今年の日本の躍進ぶりをうかがうことができ、新年にふさわしい企画展になったように思われます。
多くの方々からお寄せいただいたカレンダーの中から百十九点を撰び、八つのジャンルに分けて展示いたしました。展示会終了後は、ご希望の方に新年の贈り物としてカレンダーを贈呈させていただきます。
素晴らしいカレンダーの作品で、新しい年を希望に満ちた良い年にして下さい。皆様にとって良い年になることを心からお祈り申し上げます。

PIAギャラリー

顧問 赤木 博典



今年も恒例のカレンダー展を開くことにしました。
今年は景気回復の世相を反映してか、



カレンダー展

2014年

ボランティアをお願いします!!

ギャラリーでの絵画等の展示・撤去作業のお手伝い、お茶席の開催をお引き受けいただける方を募集しております!

病院・施設ボランティアは利用者さまの生活に快適さと潤いを運ぶ活動です。個人でもグループでも結構です。
カレンダー展、雛人形の展示・撤去作業のお手伝い、お茶席の開催を、それぞれ年に3~4回程度お引き受けいただける方です。

お問い合わせは...

TEL082-923-8333 (担当:中田)



平成26年 2月 ▶ 5月

今後の予定 ※展示内容は一部変更する場合があります。

展示場所	期間・内容
第一展示コーナー	2月上旬 ▶ 3月下旬 沖田 武 一野鳥の写真展一
	4月上旬 ▶ 5月下旬 マイコレクション展 一広島の画家たち一
第二展示コーナー	2月上旬 ▶ 4月中旬 沖田 武 一野鳥の写真展一
	4月下旬 ▶ 6月上旬 五日市高校 美術・書道展

映画上映会 今年はやります!
昨年お休みしました上映会を今年には開催します。黄金週間前後を予定しております。乞うご期待!

私は昨年4月に当院に就職し、広島市に引っ越してきました。それから早いもので、9ヶ月が経ちます。あつという間に過ぎた9ヶ月でしたが、四月から振り返ってみると知らない土地や初めての仕事に早く慣れようと、毎日必死に過ごしてきたように感じています。
今年に入職2年目になります。少し気持ちに余裕を持ちながら、これまで通り頑張っていきたいと思っています。
(H)

編集後記



ナカムラ病院 医療福祉相談員 肥中 優美

みなさんに楽しく読んでいただける紙面づくりを心がけたいと思います。

C&C編集委員 新メンバー紹介!

意気込みをお願いします

皆さまに協力していただきながら頑張りたいと思います。よろしくお願いします!



陽光の家 居宅介護支援事業所 介護支援専門員 谷 幸恵